

ジョリパットアルファ  
J P - 1 0 0 シリーズ  
はまゆう仕上げ  
施工の手引き

【初版】平成 2 2 年 4 月

アイカ工業株式会社  
化成品カンパニー

< 使用材料 >

材 料	商 品 名	概 要	荷 姿	標準施工面積
シーラー (モルタル下地の場合)	ジョリパットシーラー JS-500	水性タイプ アクリル系 1液型透明シーラー	18kg石油缶	135 ~ 180 m <sup>2</sup> / 缶 (水希釈 50%の場合)
主 材	ジョリパットアルファ JP-100 シリーズ 標準色 JP-100T ( ...数字 ) 特注色 JP-100 ( ...英字、 ...数字 )	アクリル共重合樹脂 水性仕上塗材	20kg <sup>レ</sup> 缶	約 7 m <sup>2</sup> / 缶

< 主な施工道具 >

- ・ リシンガン (口径 4 ~ 6 mm)
- ・ マスチックローラー (ジョリパットローラー JR - 20 : 9インチ) 又は、  
金ゴテ
- ・ はまゆうローラー (ジョリパットローラー JR - 61 : 7インチ)
- ・ ヘッドカットローラー (平面用 : ジョリパットローラー JR - 26)  
(隅 用 : ジョリパットローラー JR - 27)
- ・ コンプレッサー (2 . 2 kW (3馬力以上) : 1台使用の場合)
- ・ 灯油

下塗りを塗装ガンにて吹き付けで施工する場合。

< 下地調整 >

下地は、モルタル金ゴテ押さえ (平滑) として下さい。

## < はまゆう仕上げ施工方法 >

### 1. シーラー塗布

配 合	JS - 500	18kg
	清 水	9 ~ 18ℓ
塗 布 量	0.15 ~ 0.2 kg / m <sup>2</sup>	
施工方法	ローラー刷毛又はスプレーガン	

下地に最適なシーラーを選定して下さい。  
3時間以上48時間以内

### 2. 主材 下塗り

配 合	JP - 100 シーズ*	20kg
	清 水	1.5 ~ 2ℓ
塗 布 量	約0.9 kg / m <sup>2</sup>	
吹 圧 力	5 ~ 7 kgf/cm <sup>2</sup> (0.51 ~ 0.71MPa)	
使用ガン	リシンガン口径	4 ~ 6mm

左官業者の場合は、ジョリパットアルファを無希釈で  
0.9 kg / m<sup>2</sup>となるよう金ゴテにて平滑に塗布する。  
(下ごすり)

夏期 4時間以上  
冬期 12時間以上  
乾燥を確認後、次工程に移って下さい。

### 3. 主材 配り塗り

< 塗装業者の場合 >	
・ マスチックローラーにてジョリパットアルファが 約2 kg / m <sup>2</sup> となるよう、上下・左右にローラーを転がし、 均一に配り塗りする。(ムラ切り)	
< 左官業者の場合 >	
・ 金ゴテにてジョリパットアルファが約2 kg / m <sup>2</sup> となる よう均一に配り塗りする。	

### 追いかけ (5分以内)

### 4. パターン付け

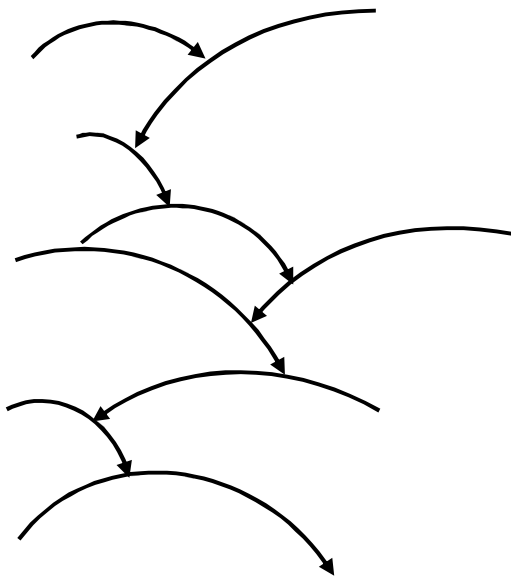
・ あらかじめ水に浸して絞り湿らせたはまゆうローラー (中毛ウールローラー) JR - 61 にジョリパットアル ファを含ませる。次に配り塗りしたジョリパットアル ファが乾燥しないうちに、JR - 61 ローラーで弧を 描く様にランダムにパターン付けをする。(図 - 1)
--

追いかけ（5分以内）

5. ヘッドカット（押さえ）

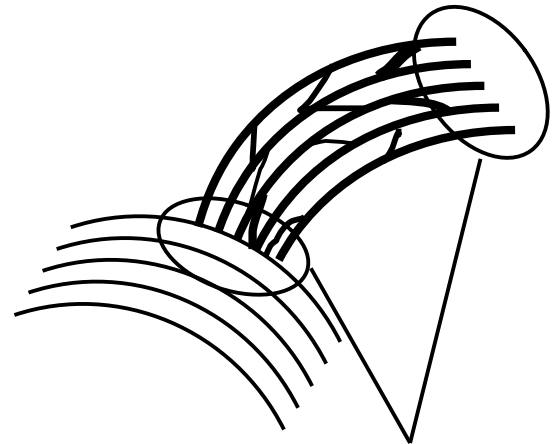
・ヘッドカットローラーJR - 26（平面用）やJR - 27（入隅用）を灯油に充分浸してから、ジョリパット模様の表面をヘッドカットローラーが転がるよう軽く押さえる。

< 施工のポイント >



ローラーの動きの一例

- ・パターンの端が重なるように施工して下さい。

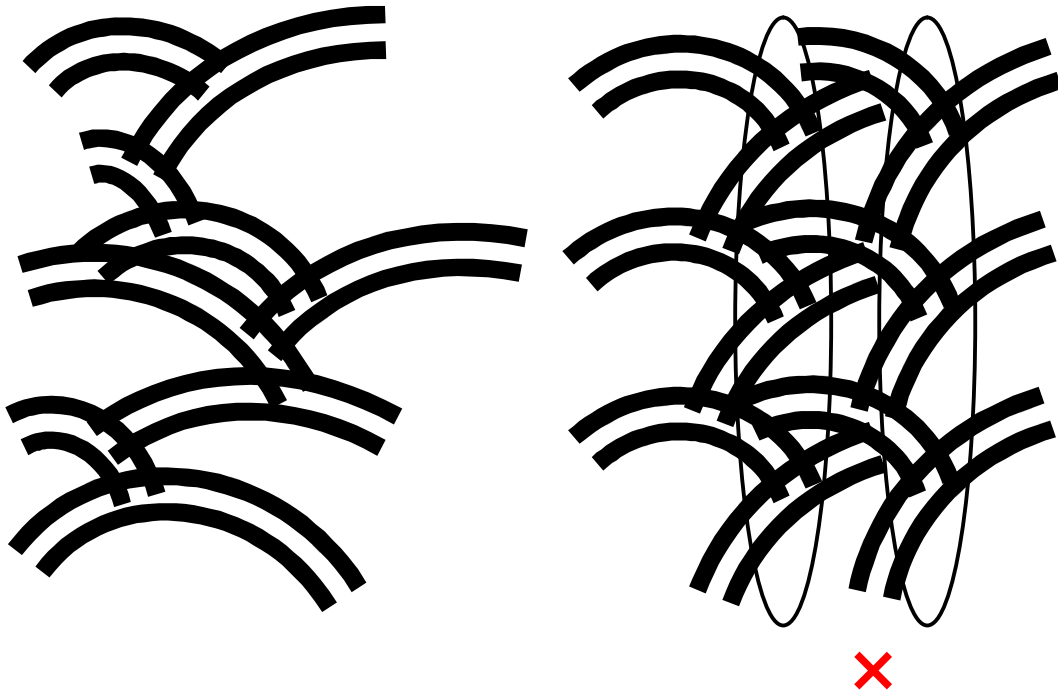


この部分のパターンが重なるようにパターン付けを行う。

図 - 1

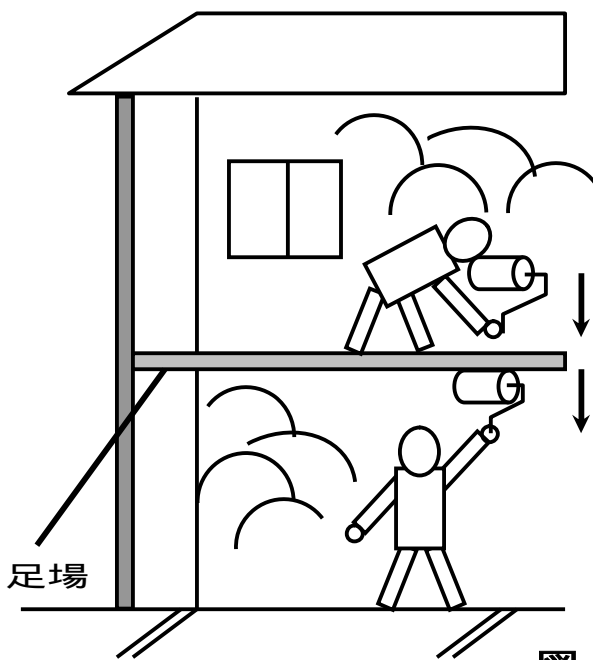
- ・はまゆうローラーがあまり回転しないようにして線を出す。ローラーを引きずるような感覚でパターンを付ける。
- ・はまゆうのパターン付けは、大きい弓状模様と小さい弓状模様がたくさん重なりあうように組み合わせる。
- ・はまゆうローラーは常に上から下方向に転がし、弓状模様をランダムに付ける。（矢印の動き）

- ・パターンが規則正しくならないよう注意する。



パターンの谷が揃わないよう注意する。

図 - 2

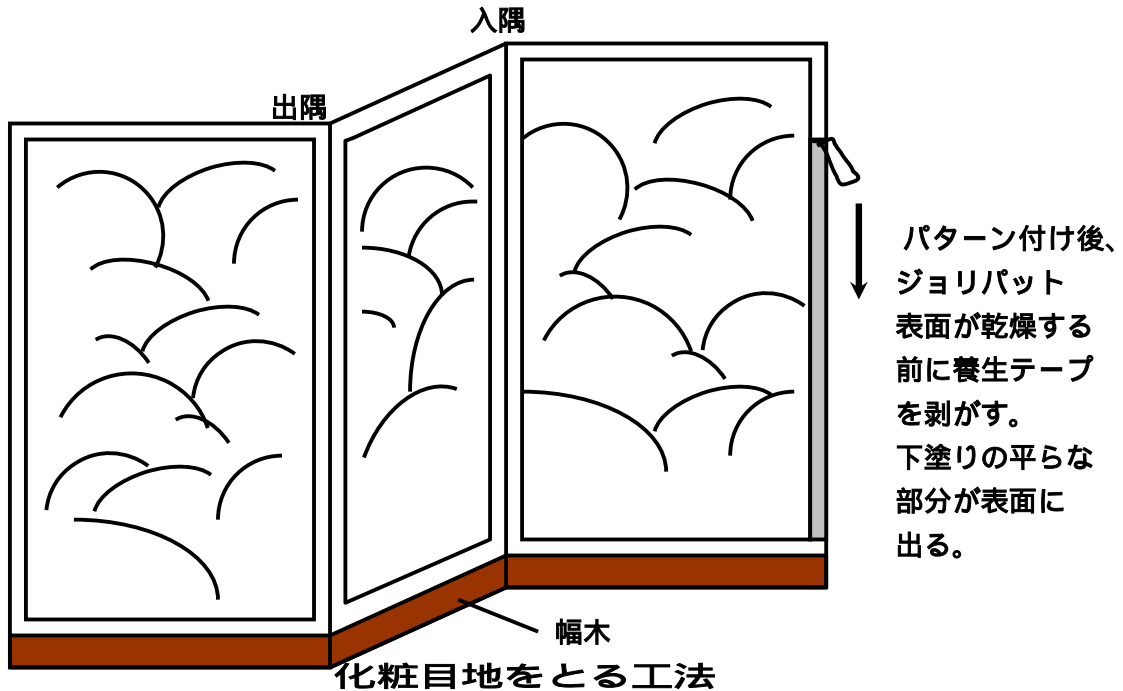


足場の部分で縦に塗り継ぐ場合は、足場の上と下で時間をあけないよう2～3人で組んで施工して下さい。ジョリパットの表面が乾燥して皮がはる前にパターンをつないで下さい。(皮ばり後にパターン付つなぎを行うと、汚くなり継ぎが目立ちます。)

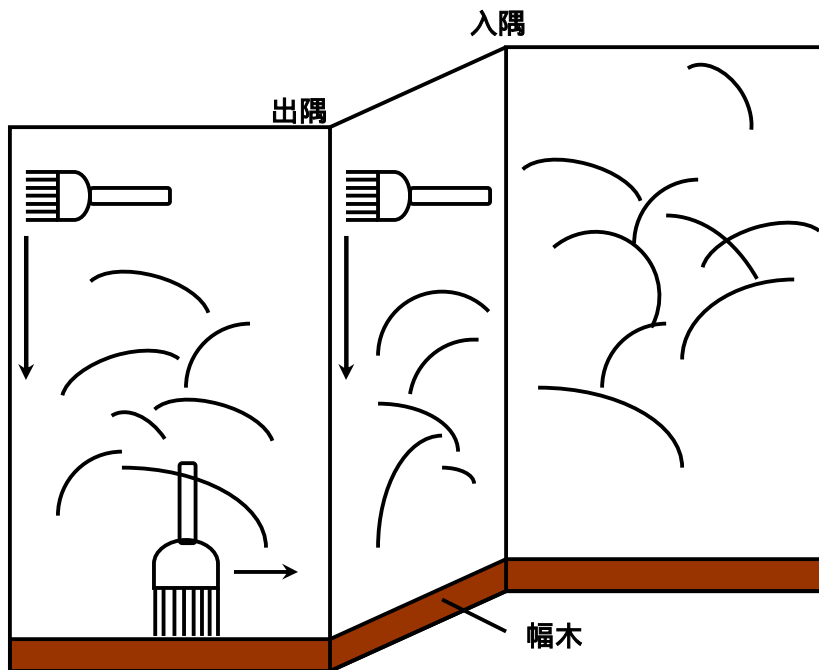
図 - 3

### 入り隅、出隅の処理方法

- ・ 入り隅や出隅、幅木のちりは、化粧目地をとるかジョリパットが乾燥する前に水を浸した刷毛（平刷毛など）で押さえる。  
(図 4)



ジョリパットを下塗りし、完全に乾燥した後、養生テープを貼り、化粧目地をとる。



刷毛で押さえる工法

図 4

- ・大面積を施工する場合、ジョリパットの表面が皮ばりした後にパターンをつなぐと模様つなぎが汚くなる為、化粧目地をとるよう工夫する。(図 - 5)

(例)

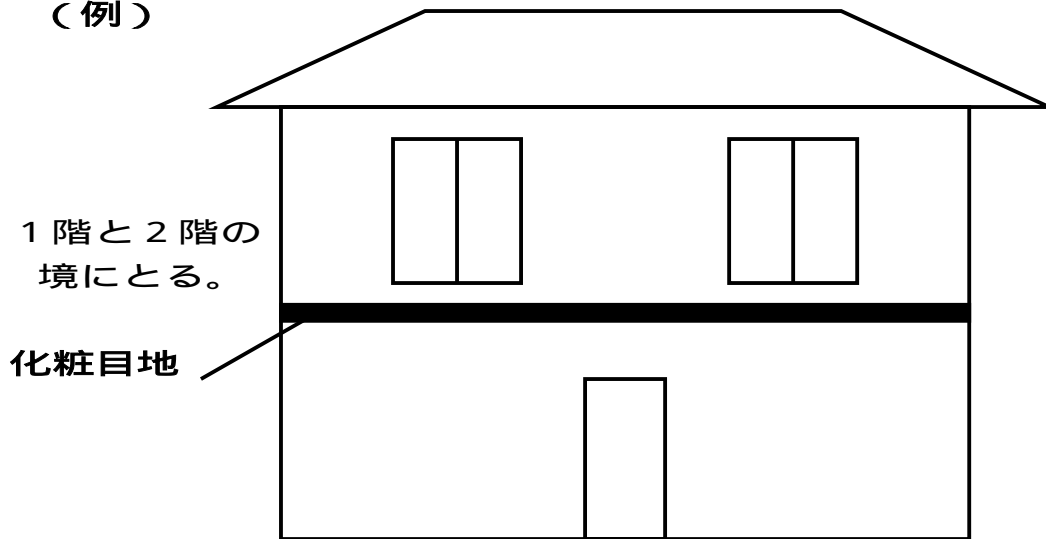


図 - 5

#### < 施工の注意事項 >

- ・配り塗りはできるだけ均一にする。  
(パターンを均一にする為)
- ・塗布量が少ないとパターンが出ない場合があります。
- ・はまゆうローラーJR - 61 (パターンローラー) にもジョリパットを充分含ませる。
- ・ヘッドカットローラーは、力を入れず上から下へ軽く転がす。  
(強く押さえると模様が潰れてしまいます。又、下から上へカットローラーを転がすと模様が逆立ってしまいます。)
- ・施工前に必ずコンパネ等で試し塗りをを行い、仕上がり、乾燥性を確認して下さい。
- ・乾燥が比較的速いため、塗り継ぎ時間に注意して下さい。  
(特に外装の大面積を施工する場合は、作業人工や化粧目地による分割を検討して下さい。)
- ・塗板見本及び現場施工時のパターンの状態を、施主等の責任者の承認をいただいた上で施工を進める。

- ・シーラー、ジョリパット施工の際は臭気トラブルを防ぐ為、事前に近隣への案内等にご配慮下さい。
- ・シーラー、溶剤、洗浄剤(灯油など)で有機溶剤が含まれる場合は特に、防毒マスクを着用してください。また、必要に応じて保護眼鏡や保護手袋を着用してください。
- ・施工器具(コテ、ローラー、吹き付けガン)などの洗浄水の、河川や側溝への施流は避けてください。

以 上